

苦しみとは

私たちの人生は、思うようになかったり、人間関係に悩んだり、病気をしたり、経済的に困ったりします。また思いがけず、事故や災害にあうこともあります。どうしてこんな苦しいことがあるのでしょうか。この章では苦しみについてごいっしょに考えてみましょう。

この課で学ぶこと

1. 避けられない自然災害がある
2. 多くの苦しみは人間が作っている
3. 苦しみの意味
4. 苦しみの勝利は約束されている
5. 苦しみの解釈を超えて



●考えてみましょう

今までの歩みの中で、苦しかったことはありますか？

1. 避けられない自然災害がある

多くのクリスチャンが、自然災害を神様や悪魔のせいにしがちです。けれども、自然災害は避けられないのです。日本列島の地下では4つのプレートがぶつかり合っているのです。ひずみがたまると地震が起こります。地震の震源地が海底の場合では、津波が起こることもよくあります。周期的に大きな地震も必ず起こります。

地震や津波だけでなく、日本は台風の通り道にもなっていますし、6月や9月頃には集中豪雨も降りやすい気象条件になります。こういった自然災害は、誰が悪いわけでもありません。私たちが日本列島に住んでいる限り、避けられない自然現象です。

神様は世界を造られた時、世界が正しく動いていくために自然法則を与えられました。世界はさまざまな自然法則に従って動いているので、自然災害が起こることもあるのです。ですから、自然災害が起こった時に、神様や悪魔のせいにするのは正しくありません。私たちに必要なのは、必ず起こる自然災害に備えて、被害が最小限になるようにあらかじめ備えておくことです。

2. 多くの苦しみは人間が作っている

苦しみに関するもう一つの誤解は、本当は人間が原因なのに、それを神様や悪魔のせいにするということです。たとえば、ほとんどの交通事故は人間の不注意で起こっています。スピードを出し過ぎてコントロールできなかつたり、スマホを見ながら運転したり、ブレーキとアクセルの踏み間違えもあります。

また、日本や世界には裕福な人とそうでない人がいます。その差がどんどん大きくなっています。こういう貧富の差も人間が生み出したものです。こういった格差によって、難民問題やテロや戦争が起りやすくなっています。

その他にも、石炭や石油、ガソリンなどを燃やすことによって二酸化炭素濃度が上がり、地球温暖化が進んでいます。それが異常気象の原因の一つとなって、自然災害が増えています。あるいは、自然の乱開発によって今まで知られていなかったウイルスに感染するリスクが高くなっています。

以上のように、人間は苦しみの多くの原因を自分たちで生み出しています。こういった苦しみの責任も人間の側にあるのです。



コラム

避けられない自然災害

2011年3月11日に起こった東日本大震災は、本当に痛ましい災害でした。多くのクリスチャンが「神よ。なぜ!」と叫びました。また外国では「日本に対する神の裁きだ」という声もありました。けれども、歴史を調べてみると、この地震は約千年に1度繰り返し起こってきた地震なのです。今後も大きな自然災害が起こることは避けられません。

3. 苦しみの意味

もし、この世界に苦しみが全くなかったらどうでしょうか。すべてのことが自分の望んだとおりになる。ほしい物は何でも手に入る。食べたい物を好きなだけ食べることができる。最高の世界でしょうか。

もし、そのように育ったらどんな人になると思いますか。少しでも

8 苦しみとは

自分の気に入らないとすぐに怒る人。全くがまんでできない人。きっと、他の人のことなんて考えないわがままで自己中心な人になってしまっているのではないのでしょうか。

私たちは苦しみなんてないほうがいいと思いますが、苦しみには大切な意味があるのです。ここでは、主なものを挙げますが、一つの苦しみにいくつもの意味がありえます。

(1) 神様に不従順な者へのさばき

自分の罪が原因で苦しみを受けなければならないことがあります。出エジプトの時のイスラエルの民や、神様に逆らったヨナなどがそうです。単に罰するのが、神様の目的ではありません。神様は愛であり義なるお方です。悔い改めて、神様に立ち返ることを期待しておられます。しかし、何度警告を受けても悔い改めない時、神様は滅ぼされることもあるので、神様を侮(あなど)ってはなりません。

「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。」(ガラテヤ 6:7)

(2) 自分のありのままの姿を知るため

苦しみは、自分のありのままの姿を知るよい機会となります。自分の弱さを見せられ、へりくだらされます。

「あなたの神、主がこの四十年の間、荒野であなたを歩ませられたすべての道を覚えていなければならない。それは、あなたを苦しめて、あなたを試し、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心のうちにあるものを知るためであった。」(申命記 8:2)

(3) 神様により頼む者となるため

多くの方は順調な時は神様を求めません。苦しみにあい、自分の力でコントロールできない状況に置かれて初めて自分の無力さを知り、

8 苦しみとは

神様を求めるようになります(Ⅱコリント 1：8-9)。

ただし、苦しみを乗り越えただけでは、よけいに自分に自信を持ち、神様に信頼しなくなる場合もありえます。苦しみの中で自分の過去をふり返り、軌道修正して神様との関係をより深くしていく人が成長できます。

(4) キリスト者であるために受ける苦しみ

私たちがキリストに従っていく時、苦難は思いがけないことではなく、あたりまえのこととして受けとめられています(使徒 14：22、Ⅰペテロ 4：12-16)。

キリストに従っていく時に受ける苦しみは、イエス様が受けた苦みをいっしょに経験することになります(ピリピ 1：29、コロサイ 1：24)。キリストは、自分を犠牲にして神と人に仕えることの模範を示してくださいました(Ⅰペテロ 2：20-21)。

初代教会はキリストのゆえにはずかしめを受けることができるようになったことを、真の弟子となったことのアカシとして、心から喜びました。イエス様がすでに経験された苦難を今や自分たちが継承していると信じています。「**私たちは、いつもイエスの死を身に帯びています。それはまた、イエスのいのちが私たちの身に現れるためです。**」(Ⅱコリント 4：10)

(5) 聖化のため(イエス・キリストに似た者に変えられていくため)

私たちは苦しみの経験を通して、神様のおきて(正しいことと正しくないことの判断など)を学びます(詩篇 119：71)。

私たちは、苦しみを通して聖められます(Ⅰペテロ 1：6-7、4：1-2)。神様は私たちを神の子として訓練し、神様の聖さにあずからせようとしています(ヘブル 12：5-11)。苦しみは、私たちに忍耐、練られた品性を生み出し、成長させます(ローマ 5：3-5、ヤコブ 1：2-4)。



コラム

解釈よりも共感を!

私たちは他の人の苦しみの原因や理由をいろいろと解釈しがちです。しかし、苦しみのただ中にいる方に対して大切なのは、黙ったままでもよいからいっしょに寄り添うことです。神様も私たちが苦しみにあっている時、いっしょにいてくださいます。

まずその人の気持ちに共感することが大切です。そうすると少しずつ感情が慰められ、いやされていく中で、質問が変化していきます。「なぜ、私がこんな苦しみにあわなければならないのか」というような怒り、自己非難から、「神様はこの苦しみを通して私に何かを学ばせようとしておられる」、「これも神様からの恵みだ」というような神様中心の視点へと変化していくのです。

(6) 苦しみの中にいる人を慰めることができるため

私たちは苦しみを経験することによって、苦しみの中にいる人を慰めることができるようになります(IIコリント1:4-5)。

4. 苦しみの勝利は約束されている

私たちは苦しみを避けて通ることはできませんが、感謝なことに苦しみに打ち勝つことは約束されています。

(1) 耐えることのできない試練にはあわせられない

神様は私たちに耐えることのできない苦しみを与えることはされません(Iコリント10:13)。

(2) 勝利の約束といやし

イエス様は苦難のしもべとして誰よりも深い苦悩を経験され、それに勝利されました。ですから私たちの痛みを理解し、いやしてくださいます(ヨハネ16:33、イザヤ53:4-6)。

(3) どんな苦しみも私たちがキリストから離すことはできない

私たちは苦しみに負けそうになることがあるでしょう。負けているように感じることもあるかもしれません。しかし、必ずイエス様と同じように復活し、苦しみにも勝利することが約束されています。すべての困難に勝利されたイエス・キリストが私たちの内にいてくださるのです(ローマ 8 : 35、37-39、Ⅱコリント 4 : 8-11)

(4) 新天新地において苦しみはなくなる

苦しみは永遠に存在するものではありません。イエス様が再び来られた後の新しい世界では、苦しみはなくなります(黙示 21 : 3-4)。

5. 苦しみの解釈を超えて

私たちの人生には、祈っても容易に解決しない苦しみもあります。苦しみの理由を理解することはむずかしいですが、そこに何か神様の深い目的があるのだらうと思い、神様に信頼しましょう。「**隠されていることは、私たちの神、主のものである**」(申命記 29 : 29)。今は明らかにされていないことがあります。私たちの目には覆われていることがあるのです。

パウロも自分の弱さを取り去ってくださるように 3 度も願いました。「**しかし主は、『わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのうちに完全に現れるからである』と言われました。ですから私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう**」(Ⅱコリント 12 : 9)と語っています。

原因や理由がわからなくても、無意味な苦しみはありません。神様は、苦しみを通して私たちをより大きな成長へ導いてくださいます。また、たとえ、自分なりに理由や意味がわかったと思っても、その解釈が正しいかどうかわかりませんし、私たちに神様の計画がすべてわ

8 苦しみとは

かるわけでもありません。また、私たちは人生経験が長くなるにつれて、過去の経験の解釈は変化していきます。大切なことは、たえず神様を信頼すること、神様に明け渡し委ねて従うことを求めていくことです。「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています」(ローマ 8:28)。どんな苦しみがあっても、共に祈りつつ乗り越えさせていただき、成長させていだけましよう。

まとめ

私たちの人生にはさまざまな苦しみがあります。無意味な苦しみはありません。たとえ苦しみの意味がわからなくても、神様を信頼し、神様に委ねて従っていきましょう。仲間と共に祈りつつ、苦しみを乗り越えさせていだけましよう。そうすることを神様は喜んでくださり、私たちを成長させてくださるのです。

Q

話し合ってみましょう

1. あなたは今までどんな苦しみを経験してきましたか？
2. その経験からどんなことを学びましたか？